


未来への一歩に、ともによりそう

岩泉よりそい   
みらいネットの歩み

～いわいずみ型災害ケースマネジメントの取り組み～

特定非営利活動法人クチュエカ

事務局長・理事・防災士

鈴木 悠太<sup>1</sup>

**1.岩泉町の概要**

**2.包括的相談窓口の設置の経緯**

**3.多職種・多機関連携による支援体制**

**4.今後の課題と展望**

# ■ 台風第10号豪雨災害の被害の様子 国道455号（岩泉～小川間）



# ■ 台風第10号豪雨災害の被害の様子 (岩泉地区中心部駅前)



平成28年台風第10号豪雨  
被災者支援のあゆみは…

東日本大震災の  
経験と学びから  
始まった…

## 2016年8月30日発災後

緊急対応期

### 〈災害救助法に基づく支援〉

避難所設置、炊き出しその他による食品の給与、飲料水の供給、被服・寝具その他生活必需品の給与学用品の給与、被災住宅の応急修理、障害物の除去

### 〈その他の支援〉

ボランティアによる泥だし支援、傾聴、がれき・流木撤去、心のケアセンターによる支援、保健師による全戸訪問、障害者等訪問

〈岩手県災害派遣福祉チーム〉  
専門職で構成し、避難所などで福祉的緊急支援を行う。

### 〈いわてNPO災害支援

#### ネットワーク（INDS）

県内複数のNPOにより「オール岩手での協働による復旧・復興の推進基盤」の構築を目的として平成28年9月に設立。町・県・町および県社協、住民団体と協力。（平成29年4月まで岩泉町にて支援活動を行う。）

復興期

支援フェーズ移行後に求められる支援とは？

# 支援フェーズ移行後は、 被災地に暮らす人々の多様な悩みごとや困りごと が表面化する。

住宅が被害を受けた方

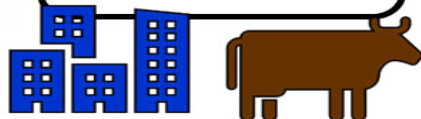
住居



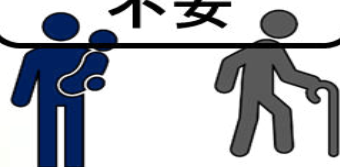
土地



仕事・生業



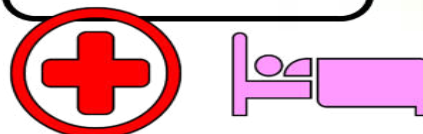
将来への不安



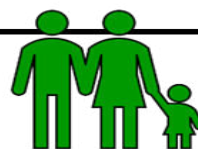
支援の枠組みから漏れた方

職場が被災し困窮に陥った方

病気・介護



家族



お金・借金



こころ



被災前から病気や障害、  
介護で悩んでいた方

一人ひとりによりそい  
ケースマネジメント  
できる機関が必要…





いそより泉岩  
トネツい  
ネット  
へ



# 岩手県岩泉町

- ◎住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることが出来る体制を整備する。
- ◎地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制を整備する。

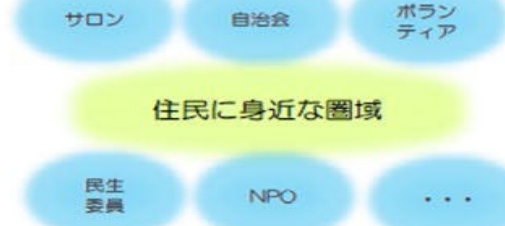
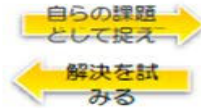
## 自治体概要

- ・人口 8,458人 ・面積 992.36km<sup>2</sup>
  - ・世帯数 4,249世帯 ・高齢化率 45.78%
- ※令和4年3月末現在

《目的》住民が支援者とともに地域生活課題の解決に取り組む経験を重ね、住民が自らの活動に自信を持ち、主体的に地域づくりに取り組むことを目指す。

## すべての人の生活の基盤としての地域

- ・社会参加の場の提供  
(就労の機会・住宅支援・地域活動への参加)
- ・訪問による見守りの継続



相互に交流を図ることができる拠点  
(地域力の強化)

様々な課題を抱える世帯 課題がありそうな住民

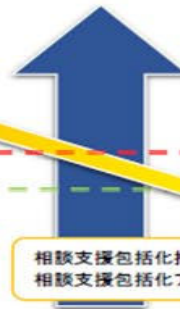


課題の把握受け止め 支援決定 制度利用・支給申請

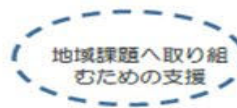
## 相談窓口

- ・役場窓口 (高齢者、母子保健、健康推進、子ども子育て、教育、地域福祉、障がい福祉)
- ・社会福祉協議会
- ・相談支援事業所
- ・医療機関
- ・その他支援機関等

## 課題解決に向けた支援の実行



相談支援包括化推進員  
相談支援包括化アドバイザー



課題の把握受け止め

地域への働きかけ・サポート

研修会・学習会の提供

生活相談支援員  
地域力コーディネーター

地域ケア会議・相談支援包括化推進会議等

情報共有早期把握

参加

## 重層的支援会

会議主催  
支援プラン作成

困難事例の相談

問題の解きほぐしと支援方法の提案

## ケース支援会議

【役割】情報共有の場

困難ケースの解決・ケース進行管理をする場  
岩泉よりそいみらいネット

## サポート

岩泉よりそいみらいネット連携団体

- 弁護士、生活困窮者支援団体  
障がい支援団体、被災者支援団体  
介護事業実務経験者 など

地域住民の相談を包括的に受け止め支援につなげる場

# 岩泉町多機関の協働による 包括的支援体制構築事業

この事業ではまず現状では適切なサービスを受けることができない  
様々な対象者を捉えて…



いわゆる「**たらい回し**」といった事態  
が生じないように、**包括的に受け止める**  
ための相談体制の構築を図る。



相談者本人のみならず、育児、介護、障害  
貧困などその属する世帯全体の複合的かつ  
複雑化したニーズを的確に捉える。  
これらを解きほぐし、生育歴などの背景も  
勘案した本質的な課題の見立てを行う。

そのうえで**様々な相談支援機関等と連携**  
して必要な支援をコーディネートする。



キーワードは…



相談を包括的に受け止める場の設置



様々な相談支援機関との連携構築

弁護士や社会福祉士、生活困窮者自立支援被災者支援、相談支援専門員など町外団体に属する各種専門職を配置。

**週3回**の頻度で生活相談窓口を開催。

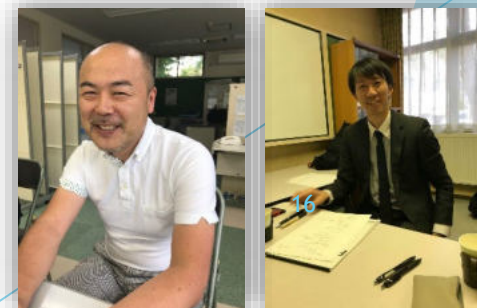


相談支援  
包括化  
推進員  
です。

町に常駐し相談対応や支援調整等を行います。

町に常駐する相談支援包括化推進員が受けた  
相談を連携する**相談支援包括化アドバイザー**  
からの助言も受けながら…

町内外の**各種関係機関とも連携**を図り支援  
プランの構築を共に行います。



こんな  
方法も  
あるかも？





利点としては…相談支援包括化  
アドバイザーの助言があること  
によって、より多様な視点での  
支援方法を模索することが可能  
になります。

# この事業の主な対象者



相談者の世帯の中に課題を抱える者が複数存在



相談者のみが複数課題を抱えている世帯



既存サービスの活用が困難な課題を抱えている世帯



上記のような内容が重なっている世帯

# 岩泉よりそい・みらいネットの支援の流れ

1

## 相談窓口の周知

- ★毎月1日の町広報のお知らせページに開催予定日と相談支援者等の情報を記載
- ★ぴーちゃんネットも活用してより多くに周知  
(岩泉町全戸設置IP告知端末)



2

## 相談窓口／訪問支援

★週3回、ワンストップ型の包括的相談窓口を設置

★各地区の支所にも巡回相談を実施

★各回、相談支援包括化推進員を2～4名配置



複合課題



単独課題



法律問題



3

関係機関  
への繋ぎ

3

窓口で  
解決

3

弁護士  
案件

相談支援包括化推進会議

# 相談支援包括化推進会議

3

## 実務者会議

- ★相談支援包括化推進員間での情報の共有と課題の整理
- ★ネットワーク外の多機関との連携方法の検討



4

## 支援調整会議

- ★よりそい・みらいネットが中心となり、ケース世帯に関わる複数の支援者・機関を参集（行政機関内の関係部署やケアマネージャー、相談支援専門員、ケース世帯のキーパーソンなど）
- ★世帯が抱える課題を共有し、今後の支援について役割を分担する

5

## 支援プランの作成

★実務者会議、支援調整会議の結果をもとに、世帯まるごとの支援プランを作成



6

## モニタリング



7

## 終結

面積の広さと地域性などもありそもそも  
相談へとたどり着くまのも難しい世帯も多い…

効果的に相談窓口へとつなげるためには  
**地域により多くのアンテナ機能を作る**  
ことが必要。



対象者を捉え相談窓口へと  
**繋げる役割**は町に複数必要となる。

この取り組みで様々な枠組みを超えて  
多岐に渡る分野の専門職による支援体  
制の構築を進めています。

広大な面積の岩泉町をケアするため…



これから先は  
より**多くの仲間作り**と**地域資源の発掘**  
が重要になります。





## ■事業としての取り組みの沿革

H29～H30年度（モデル事業）

多機関の協働による包括的支援体制構築事業



R元～R2年度（モデル事業）

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業



R3年度

重層的支援体制整備事業移行準備事業



R4年度～

重層的支援体制整備事業